



これは不思議！

寺本が議会で何度も「失格判断基準は税金無駄遣い、欠陥入札制度であるから廃止せよ」と訴えるたびに「市は必要な制度である」とガンとして改めようとはしないのに、今回はなぜか

失格判断基準が導入されない、健全な競争が働く入札が行われたのです！ それは小・中学校のエアコン導入のための調査委託料の入札です。



事業名：小・中学校空調設備整備事業調査業務・入札日 平成30年10月12日 ・予定価格 3,800万円

指名業者名	入札額	予定価格に対する 落札率	今回の入札結果	通常失格判断基準導入 予定価格 70%以下は失格 落札になる
株式会社長大名古屋支社	2,700万円	71%	参加	落札になる
株式会社日建設計総合研究所名古屋オフィス	1,420万円	37%	落札	失格になる
株式会社地域総合研究所名古屋事務所	事前辞退			
三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社名古屋	事前辞退			

※落札業者は(株)日建設計総合研究所名古屋オフィス 落札金額は1,420万円

失格判断基準導入の入札であつたら1,280万円の税金無駄遣いをするとおどろかされた。寺本の追跡調査から落札者(株)日建設計担当者を確認しました。回答は「当社は調査実績(データストック等)があり、入札額で十分業務はできます。1420万円の入札額で入札しました。」でした。市が今回失格判断基準の制度を導入しなかった理由、その①入札業者に地元の業者がいなかった。その②教育政策課の入札だけに、教育上頑張ったものが報われる公正な入札にしたのかも

設計・コンサル・調査業務は業務実績によるデータストックから大幅なコスト削減が可能です。これは業界の常識です。業者からは「安くできるが、失格判断基準が導入されていると失格になるので3割~4割上乘せして入札するしかない」と聞いています。失格判断基準は、企業努力を認めないイノベーションを阻害する最悪の入札制度です。健全な競争が働く一般競争入札に改めれば年間推計36億円の財源が確保でき、防災工事や生活インフラ整備等の公共事業が行えます。業者の仕事も増え住民の暮らしの安全度も高まります。今後欠陥入札制度の廃止を訴えていきます。この制度は地方自治法第2条14項(税金を使うものは最小の経費で最大の効果を挙げなければならない)に明らかに反しています。



平成30年12月議会では5年連続の公務員給与・議員報酬引き上げ案等に反対しました。(H30,12月14日)

本会議最終日に以下の反対の理由を述べました。

本議案は5年連続の公務員及び議員等の給与、報酬の引き上げ案です。今回も8月の人事院勧告を受けての措置であり、勧告は「民間給与との格差を埋めるため、俸給表の水準を引き上げる」としてあります。この勧告に準じて地方公務員給与も同様に5年連続引き上げられるわけです。

日本の財政は先進国の中で最悪の状況であることは周知の事です。日本の財政赤字はGDP対比23.5%でギリシャより5.6%も多いのです。国債や借入金などを合わせた「国の借金」は18年3月末時点で1087兆8130億円です。民間企業ならとっくに倒産しております。国民の赤ちゃんからお年寄りまでのひとり当たり、約859万円

の借金を抱えている計算です。財政再建が5年先に見込まれ来年は消費税が8%から10%に増税されます。2025年問題等考えれば増税は必要としても、税金を財源とする議員報酬及び公務員給与の5年連続引き上げは不条理極まりない。民間の赤字企業であるなら定期昇給ベースアップは据え置きです。

プライマリーバランス黒字化までは議員報酬及び公務員給与は引き上げるべきではない、と考えます。

※公務員給与と議員報酬の引き上げに
反対した議員は私一人とはね



H30年12月議会報告会を2回開催します。どなたでも参加できます。お気軽にご参加ください！

と き: 第1回 平成31年2月10日(日)午前10:00~正午 ところ: 豊橋市民文化会館 第3会議室
第2回 平成31年2月13日(水)午後2:00~午後4時 ところ: 昭和の家(牛川薬師町13)

URLが
変わ
りました。

詳しい情報は寺本ひろゆきのホームページをご覧ください。

<http://teramotoh.net>



改革はまず己から

今年度も政務活動費(年間108万円 12年通算1296万円)を辞退して議員活動を行なっております。寺本は政務活動費廃止を公約にしております。

統基会代表 寺本ひろゆき 豊橋市賀茂町字石城寺4-6 携帯/090-8458-7575 FAX/0532-88-3422